



心を揺さぶる試合で  
福島に希望、喜び、  
元気を届けたい

何があっても諦めない。毎試合完全燃焼を信条に、熱い試合で福島の復興を牽引し続ける福島ユナイテッドFCの皆さん。チームを率いる時崎悠監督の好きな言葉は「完全燃焼」と「継続は力なり」。「やめた瞬間に全てが終わってしまうので継続は大切です。夢に向かって完全燃焼。少しずつでも進んで行けば必ず大きな結果につながります。福島も僕たちも今が踏ん張り時です」  
これまでも、福島を愛し、子どもたちに夢を与えられるチームになる

うと精進を続けてきた福島ユナイテッドFC。「震災とチーム存続の危機というどん底を経験したことでよりその思いが強くなり、試合で勝負の意味もさらに深くなりました」  
選手は、チームのホームタウンで暮らす人たちのために自分たちができることは、サッカーでまちを元気にすることだと思いつつピッチに立つそうです。「僕らよりもっともつと辛い思いをしている人がたくさんいます。みんなに希望、喜び、元気を届けるために心を揺さぶる試合をしたいと思うようになりました」

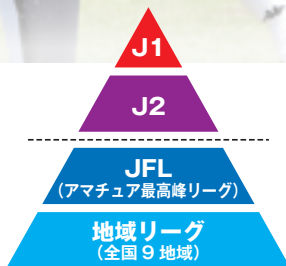
福島の復興を  
支え続けることが  
僕らの使命

Jリーグ  
を目指して  
前進してい  
く中で、こ  
れまで以上  
に大切にし  
ていきたい  
と思ってい  
るのがホームタウンとの絆きずな。子ども  
たちのためのサッカー教室や地域の  
人たちとの触れ合いの場を作りたい  
と考えているので、ぜひ、楽しみに  
してほしいと話してくれました。



# 自分を信じて 努力 毎試合完全燃焼!! と継続が大きな結果を導く

福島市をホームタウンとし、舞台を全国に広げて活躍し続ける福島ユナイテッドFC。さまざまな困難を乗り越え、昨年JFL（日本フットボールリーグ）に昇格という快挙を成し遂げました。チームの監督・時崎悠さんに、ホームタウンへの思いや夢をかなえるために大切にしていることなどについて伺いました。



福島ユナイテッドFC 監督  
とき さき ゆう  
時 崎 悠 さん

Profile

昭和54年福島市生まれ。蓬萊小学校4年生からサッカーを始め、全国大会出場を果たす。蓬萊中学校から作新学院高校(栃木県)に進学。卒業後から2005年まで所属したベルマーレ平塚(現・湘南ベルマーレ)時代は、元日本代表の中田英寿選手と同じチームでプレーした。その後、J2水戸ホーリーホックに所属。2007年から2011年までFCペラーダ福島(現・福島ユナイテッドFC)に所属。2012年から福島ユナイテッドFCトップチーム監督。



苦しいときこそ自分を信じて、何よりも大切。今のプレッシャーをどう乗り越えるか。選手たちは、真摯しんしんに自分と向き合っています。「結果をつかみ捕るためには、ブレることなく今以上の努力をし続けなければなりません。そうやってプレッシャーを乗り越え、自分の殻を打ち破ったときに、選手もチームも大きく成長します」  
明るいニュースをホームタウンに届けるべく、懸命に戦い続ける選手たち。「これまでもそうだったように、自分を信じてチャレンジしていきます」と時崎監督。  
挑み続ける選手たちの力の源になるのは、もちろん皆さんの応援です。熱い思いは人を動かします。選手たちを信じて応援し続けましょう。



選手も楽しみにしているサッカー教室。未来のスター選手育成のために、楽しい中にも指導に熱がこもります



熱心なサポーターの応援が選手たちの闘争心を奮い立たせます